NPO法人 地球環境共生ネットワーク発行

U-net
United Networks for Earth Environment

U-net通信 2016年11月 Vol.92

平成28年11月9日発行（隔月1回発行）

あとから来る者のために　坂村　真民

あとから来る者のために
田畑を耕し
種を用意しておくのだ
山を
川を
海を
きれいにしておくのだ
ああ
あとから来る者のために
苦労をし
我慢をし
みなそれぞれの力を傾けるのだ
あとからあとから続いてくる
あの可愛い者たちのために
みなそれぞれ自分にできる
なにかをしてゆくのだ

発行:NPO法人 地球環境共生ネットワーク　〒105-0014　東京都港区芝2丁目6番3号三宅ビル4F　TEL:03-5427-2348　FAX:03-5427-5890　http://www.unet.or.jp　編集人:大山正治/発行人:比嘉照夫

第6回環境フォーラム「うつくしまEMパラダイス」
今年はEMマルシェで安心安全で美味しい農産物も試食・販売!

平成28年11月26日(土)～27日(日) 福島県教育会館

取材／大山

東日本大震災が平成２３年３月１１日に発生し早や６年目、宮城県や岩手県はかなり復興が進んでいる。しかし福島県では放射能汚染の影響が色濃く残り未だ先行きが不透明である。特に農産物の流通は風評被害との戦いもあり、被災前の状況にはなかなか戻っていないのが現実である。

当ＮＰＯでは被災地復興のため毎年１１月下旬に福島市で環境フォーラム「うつくしまＥＭパラダイス」を開催していて、今年で６回目を迎える。

今年の環境フォーラムは地元福島県在住の方々を中心に、部門ごとのワーキンググループも作り、企画から開催までの打ち合わせを月に１回程度行い、内容を詰めてきた。今年は今までの講演会や事例発表の座学だけでなく、「安心安全で美味しいＥＭで育てた農産物を皆さんに食べていただこう」と農産物即売会ＥＭマルシェを開催することに決めた。

国・県の基準よりも厳しく低く設定したＥＭ農産物を販売

ＥＭによる放射能汚染対策に関する研究は、ＥＭ研究機構とベラルーシ共和国国立放射線生物学研究所において継続されていて、その成果を実際の栽培に活用している。収穫後のＥＭ農産物は、ＥＭが放射性セシウムの低減に大きく作用して、栽培された農作物は放射能汚染検査においても放射能が不検出で安心安全しかも高品質になることも実証されている。

一般農産物における国の基準値は１００ベクレルであるが、今回のＥＭマルシェで販売されるものは０ベクレル、つまり全くの不検出のものさえ販売されるのだ。このような安心安全で高品質な農産物であるが、更に味にも定評ある農産物も販売される。もともと福島県の農産物は美味しいとの評判であったので、ＥＭ栽培農家の方々は美味しいものをつくるのが上手なのだ。

映画「蘇生」の上演やニキティン博士・杉本医師・比嘉教授の講演会も

ＥＭマルシェ以外にも観て聴いていただきたい催しがある。映画「蘇生」の上演と白鳥監督の講演会は、何度見て聴いても新たな発見がある。近年、微生物による健康の回復、環境の改善、地球の蘇生が微生物研究者のノーベル賞受賞にも繋がっているほど注目されてきている。この映画を見ると、それがよく解るようになる。

世界的な放射線生物学の権威であるベラルーシ国立科学アカデミーのニキティン博士によるＥＭでの放射能低減の成果発表も是非聴きたい講演だ。

脳神経外科医でＥＭを医療に取り入れ成果を上げている杉本一朗医師の話も分かり易く、真の健康のあり方を考えるきっかけになるので注目だ。

当ＮＰＯ理事長でＥＭ開発者、なおも最新のＥＭ技術を追い求め世間に公表し、地球蘇生を図る活動のリーダーとして名だたる比嘉照夫教授の講演会は、新しい情報も多いので聴いてよかったと間違いなく実感できるものだ。

▲第６回環境フォーラムPRパンフ

１１月２６日(土)と２７日(日)の２日、是非ともご来場ください。

会場のご案内

福島県教育会館

福島県福島市上浜町10-38　TEL:024-523-0206

第7回「海の日」 全国一斉 EM団子・EM活性液投入集計［最終結果］

(都道府県名　団体数 / 参加人数 /EM 団子投入個数 /EM 活性液投入量)

①北海道　4 団体 / 21 人 / ● 1,250 個 / ■ 1,900 ℓ
②青森　3 団体 / 4 人 / ■ 1,500 ℓ
③秋田　5 団体 / 54 人 / ● 500 個 / ■ 1,100 ℓ
④岩手　34 団体 / 308 人 / ● 574 個 / ■ 5,000 ℓ
⑤宮城　18 団体 / 138 人 / ● 13,530 個 / ■ 15,108 ℓ
⑥山形　5 団体 / 92 人 / ● 2,260 個 / ■ 3,070 ℓ
⑦福島　18 団体 / 258 人 / ● 10,350 個 / ■ 20,066 ℓ
⑧新潟　13 団体 / 41 人 / ● 200 個 / ■ 6,560 ℓ
⑨富山　1 団体 / 45 人 / ■ 400 ℓ
⑩石川　4 団体 / 50 人 / ● 2,000 個
⑪長野　5 団体 / 64 人 / ● 13,050 個 / ■ 32,101 ℓ
⑫岐阜　9 団体 / 100 人 / ■ 1,000 ℓ
⑬茨城　10 団体 / 339 人 / ● 14,450 個 / ■ 22,110 ℓ
⑭栃木　6 団体 / 162 人 / ● 1,000 個 / ■ 540 ℓ
⑮埼玉　1 団体 / 30 人 / ● 400 個 / ■ 6,500 ℓ
⑯東京　26 団体 / 612 人 / ● 24,500 個 / ■ 136,000 ℓ
⑰千葉　2 団体 / 49 人 / ● 10,800 個 / ■ 76,400 ℓ
⑱神奈川　6 団体 / 390 人 / ● 19,920 個 / ■ 3,500 ℓ
⑲山梨　2 団体 / 69 人 / ● 4,000 個 / ■ 1,500 ℓ
⑳静岡　8 団体 / 388 人 / ● 6,275 個 / ■ 3,300 ℓ
㉑愛知　76 団体 / 305 人 / ● 10,400 個 / ■ 30,290 ℓ
㉒三重　5 団体 / 1,439 人 / ● 70,054 個 / ■ 17,414 ℓ
㉓滋賀　3 団体 / 32 人 / ● 1,198 個 / ■ 10,413 ℓ
㉔京都　2 団体 / 4 人 / ● 500 個 / ■ 4,000 ℓ
㉕奈良　5 団体 / 183 人 / ● 2,000 個 / ■ 5,400 ℓ
㉖大阪　6 団体 / 770 人 / ● 27,500 個 / ■ 2,000 ℓ
㉗和歌山　2 団体 / 4 人 / ● 4,000 個 / ■ 1,600 ℓ
㉘兵庫　1 団体 / 1 人 / ■ 600 ℓ
㉙島根　6 団体 / 1,343 人 / ● 27,381 個 / ■ 102,886 ℓ
㉚岡山　7 団体 / 434 人 / ● 19,000 個 / ■ 19,000 ℓ
㉛山口　2 団体 / 7 人 / ● 500 個 / ■ 5,000 ℓ
㉜香川　6 団体 / 135 人 / ● 2,500 個 / ■ 3,400 ℓ
㉝愛媛　14 団体 / 314 人 / ● 2,000 個 / ■ 14,057 ℓ
㉞徳島　13 団体 / 625 人 / ● 26,300 個 / ■ 30,310 ℓ
㉟高知　1 団体 / 2 人 / ● 2,100 個
㊱福岡　18 団体 / 520 人 / ● 1,038 個 / ■ 56,090 ℓ
㊲佐賀　2 団体 / 60 人 / ● 850 個
㊳大分　5 団体 / 168 人 / ● 3,495 個 / ■ 320 ℓ
㊴熊本　9 団体 / 65 人 / ● 967 個 / ■ 20,810 ℓ
㊵宮崎　18 団体 / 266 人 / ● 10,539 個 / ■ 14,107 ℓ
㊶長崎　2 団体 / 360 人 / ● 2,200 個 / ■ 1,500 ℓ
㊷鹿児島　25 団体 / 442 人 / ● 27,718 個 / ■ 13,209 ℓ
㊸沖縄　1 団体 / 300 人 / ● 4,000 個

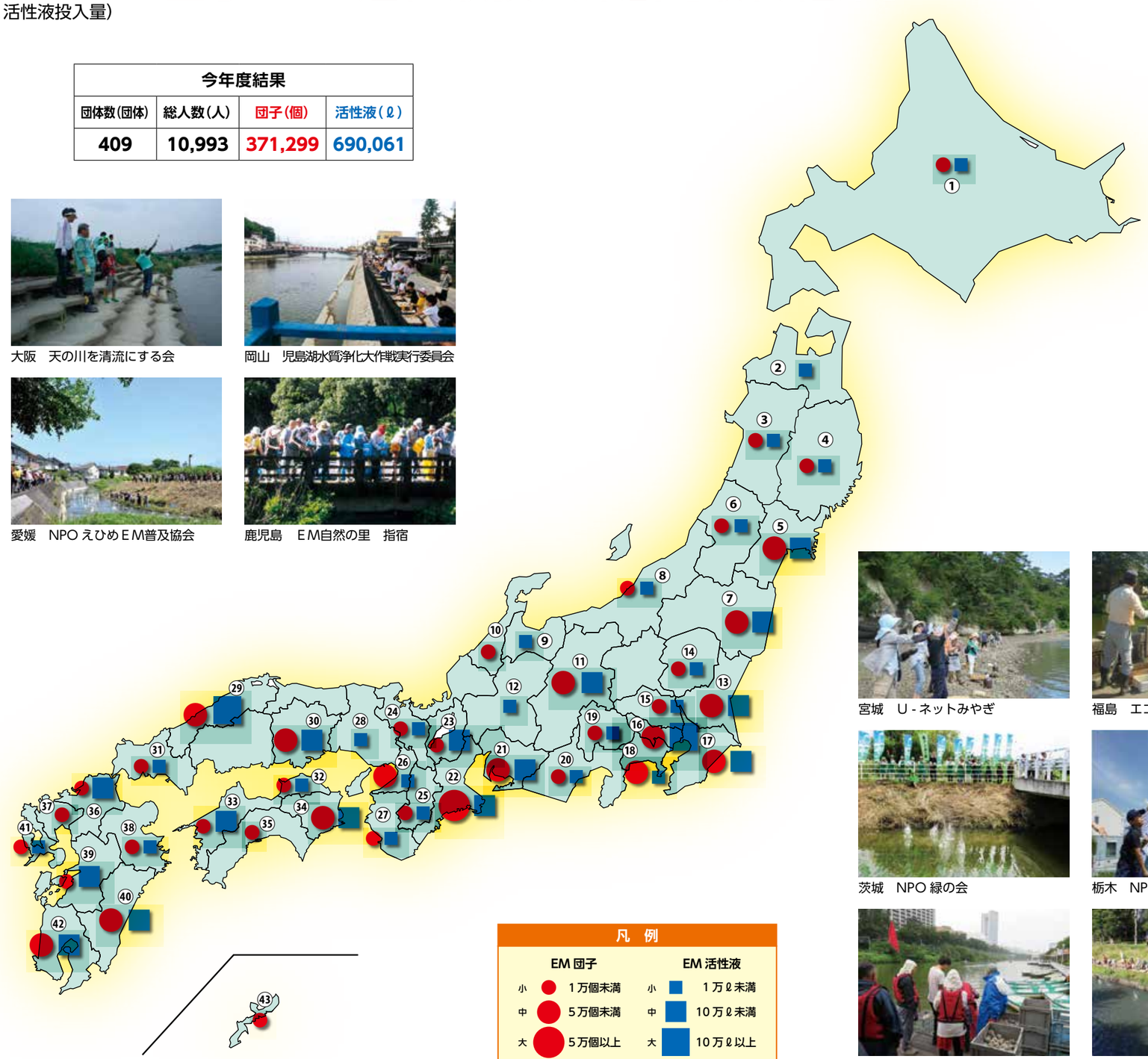
今年度結果			
団体数(団体)	総人数(人)	団子(個)	活性液(ℓ)
409	10,993	371,299	690,061

大阪　天の川を清流にする会

岡山　児島湖水質浄化大作戦実行委員会

愛媛　NPO えひめＥＭ普及協会

鹿児島　ＥＭ自然の里　指宿



宮城　U - ネットみやぎ

福島　エコクラブだて・栗野自治会

茨城　NPO 緑の会

栃木　NPO 足利美土里探偵団

東京　NPO 地球環境共生ネットワーク

愛知　堀川エコクラブ

U-net通信

人気美術館の庭園がＥＭで更に快適に

～ 開館２０年で１，０００万人が来場　箱根ガラスの森美術館 ～

取材／大山

神奈川県箱根町仙石原の箱根ガラスの森美術館（岩田正崔館長）が今年８月で開館２０周年を迎えた。この美術館は大涌谷をはじめ箱根の大自然を借景に、春の新緑・日陰が涼やかな夏・秋の紅葉・冬の雪景色と群青色の空のコントラストなど四季の折々が楽しめる場所に立地している。平成２５年４月からは、この美術館庭園の池とバラ花壇などにＥＭを活用して更に快適さを増している。この庭園管理に一役買っているのがＵ-ネット理事で執行委員の小川敦司氏。今号では美術館の環境美化について報告する。

箱根の屋内観光施設で一番人気、冬のクリスタルガラスのツリーも是非見て

箱根は雄大な自然と温泉に恵まれ昔からの保養地として有名であり、多くの魅力的な観光施設がある。昨今、国内ばかりか海外からの観光客も増えている。

この美術館は平成８年８月に開館した。館長の方針で五感を通して美術が楽しめ、子供からシルバーエイジまで一緒に楽しめる美術館として設計されている。その内容は中心となるヴェネチアン・グラス美術館、カフェ＆レストラン、ミュージアム・ショップ、ガラス体験工房、それにＥＭで浄化されている自慢の庭園である。冬場にも是非とも見たいのが「ラ・コッピア」と呼ばれる２本のクリスマスツリーで、太陽の光と風で輝くクリスタルガラスで飾られ「一生に一度、必ず見ておきたい」と大人気だ。gooランキングでユニバーサル・スタジオ・ジャパンに次いで２位になっている。３位はハウステンボスだから、素晴らしく高い評価だ。まだまだ紹介したいことがあるが、この美術館について詳しく知りたい方は岩田正崔館長の著書『愛の言葉』の購入を。

▲箱根ガラスの森美術館 岩田正崔館長

▲岩田正崔館長著『愛の言葉』amazon.co.jpで注文できます

▲箱根ガラスの森美術館庭園の中心部

池の浄化で庭園全体の空気が清々しく

緩やかな斜面庭園の回遊式池には、平成２５年４月から現在までの約３年半の間、定期的に小川敦司氏が遠路・三重県から来て、ＥＭ活性液の投入等浄化指導をしていて、驚くほど環境が改善されてきた。ＥＭ投入前には、美術館スタッフが年に数回行っていた池の清掃で、溜まったヘドロの悪臭と処理で大変な苦労があったと言う。しかし、投入し始めてからは徐々にヘドロが無くなり池の底も見え始め臭いは完全に消え、現在では清流のように澄み、人気者の鴨も元気に泳ぎ回っている。また、池が浄化されているので庭園全体の空気も清々しく感じるようになっている。

この池へのＥＭ活性液投入や庭園花壇へのＥＭぼかしやＥＭダンゴの鋤き込み等の現場には、庭園を管理する美術館の常駐スタッフが不可欠で環境の良し悪しを決めるほど重要である。幸いにもこの美術館の環境美術部責任者である藤田潤一郎氏が熱心にその任を果たしている。

▲庭園管理をする環境美術部責任者の藤田潤一郎氏(右)と中田薔薇研究所の中田邦子所長

バラの散策路を歩くと癒し効果も

美術館の自慢の一つに春から秋まで咲き誇る各種の花々がある。その中で特筆されるのがアジサイとバラで、箱根のイメージでもあるアジサイは７０種4,５００株が園の周囲に配置され入館者の目を楽しませている。園内の散策路に沿って咲くのがバラで２００種３００株が初夏の庭園を飾っている。オールドローズから現代の改良種まで揃え可憐な花と高貴な香りを楽しむことができる。特にバラについては「ＥＭのバラ活用」で高度な知識と技術で定評のある中田邦子薔薇研究所の中田邦子所長の技術指導のもと、環境美術部の植松めぐみさんがこまめに手入れを行っている。バラが咲くこの散策路を歩くだけで癒し効果があり、心が晴れやかになるとの声も上がっている。

information

事務局からのお知らせ

■今後の主要行事のご案内■

●うつくしまＥＭパラダイス　日程 11月26日(土)・27日(日)　会場 福島県教育会館

●U-ネット年次通常総会　日程 平成29年2月25日(土)　会場 友愛会館(東京都港区芝)